

佐賀大学校友会会報の発刊について

佐賀大学校友会の趣旨に賛同、ご支援いただきありがとうございます。
平成 20 年 3 月に佐賀大学校友会を設立し、はや 7 年が経過しました。
皆様から寄せられました会費により、これまで学生の国際的な活動、海外留学、課外活動などの諸活動への支援や校友間交流の一環として国内外においてホームカミングデーを実施してまいりました。
このたび、ご支援いただきました会員の皆様へ校友会のこれまでの活動を報告するため、佐賀大学校友会会報を発行することとしました。
佐賀大学校友会は、佐賀大学に関係のある皆様のご理解とご支援により運営していますので、引き続きご支援方よろしくお願いいたします。



佐賀大学校友会会長挨拶

佐賀大学は、これまで培った文、教、経、医、理、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎に、豊かな自然あふれる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、「魅力ある大学」「創造と継承」「教育先導大学」「研究の推進」「社会貢献」「国際貢献」「検証と改善」の 7 項目からなる大学憲章を宣言し活動しております。

昨今の国立大学法人を取り巻く環境は、法人化以降、更なる効率的な大学経営が求められるという状況の中にあって、本学においては新しい教育課程の編成や学内施設の整備、さらに医学部附属病院の再整備などの事業を着実に進めてきました。もちろん、今日の佐賀大学は、多くの関係者の皆様の弛みないご努力や真摯な取り組みの上にあり、こうした先人が辿ってこられた道程を忘れることなく、本学の理念でもあります「地域とともに未来へ向けて発展し続ける大学を目指して」構成員一同、邁進しております。

また、大学改革実行プランの公表を契機として、課題解決に向けた取り組みや本学の特色・強みをさらなる発展へと導く機能強化、地域との連携を推進する COC (Center Of Community) 機能強化の取り組みや将来構想などを大学改革の戦略としてまとめ、また、佐賀の地域に必要とされる「佐賀の大学」を目指し、併せて学生・卒業生の方に愛される「面倒見の良い大学」を実現するための指針として「佐賀大学改革プラン」を策定し、第 3 期中期目標・中期計画に向けた指針としながら、随時実行に移していきます。

しかしながら、少子高齢化社会が本格的に進んでいく中で、本学のような地方に位置する一国立大学が生き残っていくためには、本学の教職員の努力は勿論のこと、関係者の皆様方のご理解とご支援が不可欠です。また、「大学とは生涯にわたって自ら学ぶ姿勢」を身に付ける場ですが、学生が学生生活において様々な活動に参加していくためには、大学の経営資源のみでは十分に賄えない状況にあります。

そのような中で、校友会設立後、皆様からの会費により、国際交流支援、海外派遣支援、課外活動等の支援として、これまでに 158 件 12 百万円を超える額を学生に給付し、また校友間交流支援事業として、ホームカミングデー等も開催することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

このような、学生がより良いキャンパスライフを過ごすことができるよう支え、支援していくことが佐賀大学校友会の使命であると考えています。

今後、佐賀大学校友会は、卒業生、同窓生、教職員、在学生の保護者等に限らず佐賀大学に関係のある方々や企業・団体の皆様を含めた校友の組織づくりに取り組んでいきます。

会員の皆様におかれましては、引き続き佐賀大学校友会事業にご理解をいただくとともに、格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

平成 27 年 5 月

国立大学法人佐賀大学長 佛淵 孝夫

～ 佐賀大学校友会 ～

佐賀大学校友会は、佐賀大学に関わりのある個人及び団体からの支援を受け、在学する学生の教育研究・社会貢献・国際貢献活動など諸活動への支援及びホームカミングデー等の校友間交流への支援を行っています。



2013.11.9 第 2 回ホームカミングデー



2013.8.22 第 3 回海外版ホームカミングデー
「佐賀大学校友の集い in ソウル」

佐賀大学校友会の目的及び事業の内容等

(目的)

佐賀大学憲章に掲げる目的及び使命達成を支援することにより、佐賀大学の発展に寄与するとともに、在學生を含む佐賀大学構成員と卒業生をはじめとして佐賀大学に関与されたすべての方々を校友とし、校友相互の親交を図ることとして佐賀大学との連携の下に、国際的にそして地域に貢献するコミュニティーを形成し、その育成・発展を図ることを目的としています。

(事業の内容)

- 校友間の情報交換と情報共有の促進
- 校友間交流の支援
- 学生の社会貢献活動に対する支援
- その他校友会の目的を達成するための必要な事業
- 学生の諸活動に対する支援
- 学生の教育研究活動に対する支援
- 学生の国際貢献活動に対する支援

具体的な事業及び目的等

課外活動等支援金

課外活動を行う団体又は個人に対して援助することにより、スポーツ及び文化活動の健全な発展を促進。

緊急支援奨学金

在学中に家計支持者の失業、破産、疾病、死亡等または火災、風水害等による家計急変のため、就学継続が困難な学生の支援。

ボランティア活動援助金

社会貢献や地域連携などボランティア活動に取り組む団体または個人に対してその活動に必要な支援を行うことにより、団体又は個人の健全な発展を促進。

国際交流奨励金

学生の国際的な学習・研究活動への参加による学習・研究能力向上と国際交流の深化を奨励。

海外派遣奨励金

学生の海外留学を支援。

ホームカミングデー (平成 23 年度まではキャンパスツアーとして開催)

卒業生を大学に招待し、母校の近況を報告するとともに、学友との再会と交流・親睦を深めていただき、今後の母校への理解と支援をいただくことを目的として開催。

海外版ホームカミングデー

海外の協定校との連携の強化、並びに海外在住の卒業生や留学生及び佐賀大学に関係のあった方々が一堂に会して、佐賀大学関係者のネットワークの構築に繋げることを目的として開催。

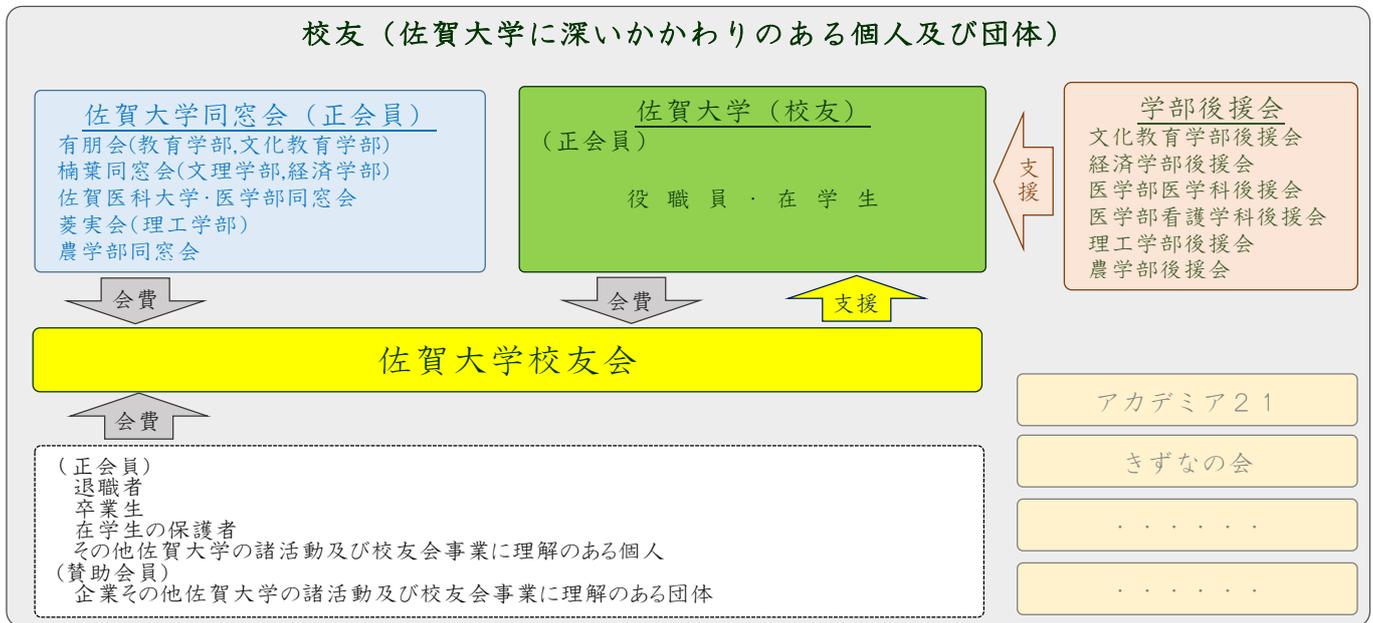
その他

平成 26 年 1 月 11 日に佐賀大学学生寮「楠葉寮」女子寮で発生した火災により、退去せざるを得なくなった女子学生 (46 名) に対し、緊急支援奨学金として給付。

(会 員)

正 会 員：佐賀大学の在校生、役職員 (退職者を含む。) 及び卒業生並びに在學生の保護者その他佐賀大学の諸活動に理解のある個人。佐賀大学同窓会。

賛助会員：企業その他佐賀大学の諸活動及び校友会事業に理解のある団体。



佐賀大学校友会設立後の支援事業実施状況紹介（平成21～26年度）

校友会では、皆様からの会費をもとに、「佐賀大学憲章に掲げる目的及び使命の達成を支援する。」という設置の趣旨のもと、学生への各種活動への支援及び校友間交流の支援を行っております。

学生支援事業実施状況

・課外活動等支援金・・・学生の優秀な部活動等について支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給付件数	個人： 5件 団体： 2件	個人： 8件 団体： 1件	個人： 17件 団体： 4件	個人： 16件 団体： 3件	個人： 2件	個人： 1件
給付総額	323,700円	287,620円	717,715円	633,425円	60,000円	90,000円

・緊急支援奨学金・・・家計急変のため、修学継続が困難な学生のための支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給付件数	1件	2件	－	－	－	－
給付総額	51,000円	102,000円	－	－	－	－

・ボランティア活動援助金・・・学生のボランティア活動のための支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給付件数	－	－	個人：1件	個人： 9件 団体： 1件	個人：1件	－
給付総額	－	－	100,000円	552,400円	100,000円	－

・国際交流奨励金・・・学生の国際的な活動のための支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給付件数	－	15件	11件	11件	14件	11件
給付総額	－	1,275,000円	950,000円	1,450,000円	1,750,000円	1,450,000円

・海外派遣奨励金・・・学生の海外留学のための支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給付件数	－	－	3件	9件	6件	4件
給付総額	－	－	150,000円	450,000円	300,000円	350,000円

・その他の支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給付件数	－	－	－	－	1件(46名)	－
給付総額	－	－	－	－	1,380,000円	－

※平成25年度は、佐賀大学学生寮「楠葉寮」の火災事故に伴う支援

校友間交流支援事業実施状況

・校友間交流支援

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
国内版	31,500円	254,254円	346,677円	251,781円	341,540円	417,680円
海外版	－	－	493,145円	532,356円	562,298円	378,781円

(海外版ホームカミングデー)

平成23年度	「佐賀大学校友の集いinハノイ」	平成24年 3月開催【開催国：ベトナム】
平成24年度	「佐賀大学校友の集いin杭州」	平成24年 9月開催【開催国：中国】
平成25年度	「佐賀大学校友の集いinソウル」	平成25年 8月開催【開催国：韓国】
平成26年度	「佐賀大学ホームカミングデーinスリランカ」	平成27年 3月開催【開催国：スリランカ】

(国内版ホームカミングデー)

平成21年度	キャンパスツアー（農学部）	平成21年 8月開催
平成22年度	キャンパスツアー（文化教育学部）	平成22年 8月開催
平成23年度	キャンパスツアー（文化教育学部・理工学部）	平成23年 8月開催
平成24年度	第1回佐賀大学ホームカミングデー	平成24年10月開催
平成25年度	第2回佐賀大学ホームカミングデー	平成25年11月開催
平成26年度	第3回佐賀大学ホームカミングデー	平成26年10月開催

平成 26 年度における支援事業実施状況紹介

平成 26 年に実施しました支援事業は次のとおりです。

事業実績と合わせて、支援金受給者及びその支援内容を紹介いたします。

学生支援事業

○「課外活動等支援金」事業 1 件 90,000 円

氏名・団体名		参加大会名・開催地・成績	支給額
団体	デジタル表現サークル boitori 系山 ゆう 外 2 名	第 2 回データビジネス創造コンテスト Digital 国内 Innobators Grand Prix (DIG) 2014 最優秀賞 主催：慶応義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ アクセンチュア株式会社	90,000 円

○「国際交流奨励金」事業 11 件 1,450,000 円

所属・氏名	国際学会等期間・開催地	支給額
工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 MD. JULFKAR HOSSAIN	平成 26 年 5 月 25 日～平成 26 年 5 月 29 日 中国（国際学会）	100,000 円
工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 STEEVE GAILY RONDONUWU	平成 26 年 5 月 25 日～平成 26 年 5 月 29 日 中国（国際学会）	100,000 円
工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 大 浦 龍 二	平成 26 年 4 月 6 日～平成 26 年 4 月 10 日 アメリカ（国際学会）	150,000 円
工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 徐 方	平成 26 年 8 月 26 日～平成 26 年 8 月 30 日 タイ（国際学会）	100,000 円
工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 SUDDEEPPNG APICHAT	平成 26 年 8 月 26 日～平成 26 年 8 月 30 日 タイ（国際学会）	100,000 円
工学系研究科博士前期課程電気電子工学専攻 原 田 和 也	平成 26 年 9 月 5 日～平成 26 年 9 月 14 日 スペイン（国際学会）	150,000 円
工学系研究科博士前期課程電気電子工学専攻 榎 谷 聡 士	平成 26 年 9 月 5 日～平成 26 年 9 月 14 日 スペイン（国際学会）	150,000 円
工学系研究科博士前期課程機械システム工学専攻 松 野 雄 飛	平成 26 年 12 月 17 日～平成 26 年 12 月 22 日 バングラディッシュ（国際学会）	150,000 円
工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 富 安 弘 嗣	平成 26 年 10 月 27 日～平成 26 年 11 月 1 日 シンガポール（国際学会）	150,000 円
文化教育学部人間環境課程 服 部 伸 也	平成 26 年 10 月 14 日～平成 26 年 10 月 21 日 ベルギー（国際学会）	150,000 円
文化教育学部人間環境課程 小田部 友理子	平成 26 年 10 月 14 日～平成 26 年 10 月 21 日 ベルギー（国際学会）	150,000 円

○「海外派遣奨励金」事業 4 件 350,000 円

所属・氏名	派遣先大学・期間	支給額
文化教育学部国際文化課程 五十嵐 梨 紗	アメリカ スリップリーロック大学 平成 26 年 8 月～平成 27 年 5 月	100,000 円
文化教育学部国際文化課程 山 本 智 之	アメリカ パシフィック大学 平成 26 年 8 月～平成 27 年 5 月	100,000 円
文化教育学部国際文化課程 野 中 颯 介	スリランカ ペラデニア大学 平成 26 年 8 月～平成 27 年 5 月	100,000 円
経済学部経営法律課程 野 瀬 共 映	オーストラリア シドニー工科大学 平成 26 年 7 月～平成 27 年 11 月	50,000 円

課外活動等支援金受給者

第2回データビジネス創造コンテスト(慶応義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ、アクセチュア株式会社主催)で全国の高校生・大学生・大学院生の47チームが参加。書類審査を通過した10チームがプレゼンテーションを行い、佐賀県への政策提言を行った本学チームが、グランプリとなる最優秀賞を受賞しました。

チーム名: Team Saggest (佐賀大学デジタル表現サークル boitori)
大学院教育学研究科 系山 ゆう
大学院教育学研究科 古川 将大
大学院工学系研究科 溝上 智奈美

テーマ: 「オープンデータの分析による救急搬送プロセスの向上」
救急搬送時間の短縮には搬送時に発生する「たらい回し」を抑制させることが重要であるとし、救急相談センターやお薬手帳のさらなる有効活用が効果を発揮することをデータから結び付けました。
また、これらの課題を解決に結びつける市民向けのスマホアプリのアイデアを示しました。



国際交流奨励金及び海外派遣奨学金受給者

第3回佐賀大学ホームカミングデー開催時に、平成25年度海外派遣奨励金及び平成26年度国際交流奨励金受給者代表による報告会を開催しました。

(海外派遣奨励金受給者)

アメリカ留学を終えて

経済学部経済システム課程 プレブドルジ バアサン

留学先: アメリカペンシルバニア州スリッパロック大学

派遣期間: 平成25年8月～平成26年5月

奨励金の使途・効果

私は発展途上国経済について勉強しています。そして、日本だけではなく欧米の国々がどのようにODA(政府開発援助)を行っているかを勉強するためにアメリカのペンシルバニア州にあるスリッパロック大学に留学しました。奨学金を生活費に充てました。

短期的な視点で一言(今後は?)

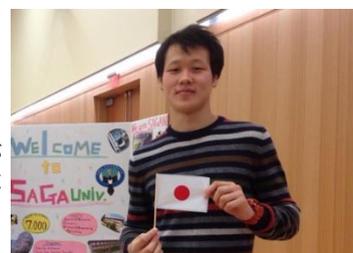
佐賀大学、または留学先で学んだことを含めて卒業論文を「モンゴルに対するODAとその影響」というテーマで書きたいです。留学先で経験したことを他の学生たちに伝えて行きたいです。

長期的な視点で一言(将来は?)

来年4月からエネルギー業界に携わる仕事をします。学生生活で得た経験と知識をもとに世界中にエネルギーが行き渡るような世の中にしたいです。

校友会の皆様へ

アメリカの大学に留学することが私の一つの夢でした。留学資金が壁となっていましたが、奨学金を給付することで校友会の皆さんがその夢が実現することに多にサポートしてくださりました。心から感謝しています。



(国際交流奨励金受給者)

情報科学を支える数学の重要性について

大学院工学系研究科博士後期課程 大浦 龍二

派遣先: アメリカ合衆国ネバダ州ラスベガス

派遣期間: 平成26年4月6日～平成26年4月10日

奨励金の使途・効果

研究成果を情報工学・情報科学の国際会議ITNG2014における研究発表するための旅費・学会登録料に使用した。さまざまな国の参加者とディスカッションする機会に恵まれ、専門である情報学を究めるのはもちろんのこと、数学や物理学などのさまざまな視点から自ら研究を見つめ直す機会となった。

短期的な視点で一言(今後は?)

視野の広い研究者となるため、自らの専門にとらわれず、積極的に応用数学を中心に広くセミナーに参加して議論する重要性を感じた。また、研究を1つのモノとして完成させるためには、企業との共同研究や実用化も目指さなければならないと感じた。

長期的な視点で一言(将来は?)

他分野との共同研究を進めることで、専門である情報科学の地位を向上しなければならない。同時に、基礎となる応用数学の知識が実際に活用されている事例を示すことで、数学の重要性を語る研究者・教育者として、研究のできる教育機関で働きたいと考えている。

校友会の皆様へ

奨励金援助のおかげで、国際会議に参加でき、多くの研究者と意見交換することができました。また、異文化や第一線の研究に触れ、世界の研究動向を調査することができました。さらに、Best Student Paper Awardを受賞できたのも、国際会議に参加し発表するチャンスを得られたからです。この度は、誠にありがとうございました。



校友間交流支援事業

(国内版ホームカミングデー)

第3回佐賀大学ホームカミングデー

開催日：平成26年10月18日(土)

開催会場：佐賀大学教養教育大講堂、

佐賀大学美術館、カフェソネス

○卒業50年、40年、30年、20年の近県在住のOB、OGを招待。

○卒業生51名を含む76名が参加。

〈企画〉

- ・第2回佐賀大学コンテンツデザインコンテスト学生部門
優秀賞受賞者による作品発表
- ・重要無形文化財(木版摺更紗)保持者いわゆる人間国宝
鈴木 滋人氏による特別講演
- ・佐賀大学校友会から国際交流奨励金、海外派遣奨励金受
給者による報告会
- ・美術館による作品鑑賞「佐賀錦・鹿島錦展」ほか
- ・美術館併設のカフェにて懇談会



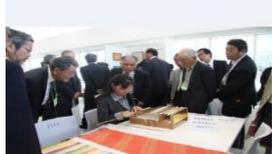
第3回 佐賀大学ホームカミングデー
平成26年10月18日

学長を囲んで参加者の皆さんで記念撮影



文化教育学部 上田夏菜子さんによる作品発表「鍋島化け猫騒動」

人間国宝 鈴木 滋人氏特別講演「受け継ぐこと 伝えること」 200名近くの方が聴講



美術館作品鑑賞 写真「佐賀錦・鹿島錦展」会場

カフェソネスでの懇談会の様子

(海外版ホームカミングデー)

佐賀大学ホームカミングデー in スリランカ

開催日：平成27年3月10日(火)

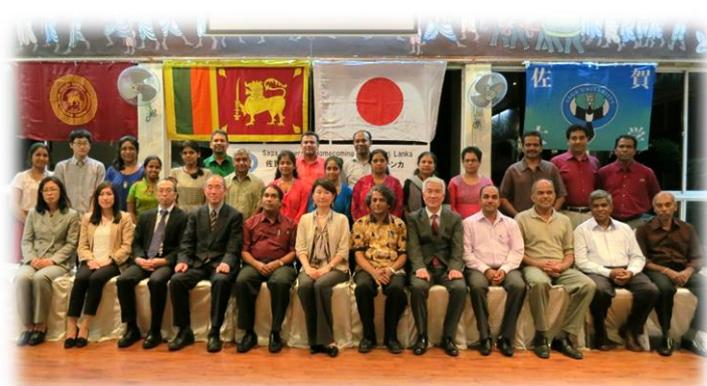
開催会場：スリランカ・キャンディ ホテルトパーズ

目的：海外の協定校との連携強化並びに海外在住の卒業生や留学生が一堂に会し、佐賀大学関係者のネットワーク構築につなげることを目的として開催。

- 本学の卒業生、帰国留学生、本学で教育研究したのち帰国した方、ペラデニア大学の教職員や学生などを含め総勢61名が参加。
- 中島副学長の挨拶の後、卒業生等のスピーチ、学生のパフォーマンス、ペラデニア大学副学長の挨拶が行われた。最後に在スリランカ日本大使館の岡井朝子公使の祝辞として、両国関係強化のために大学間の交流促進が重要であり、佐賀大学の取り組みに期待する旨述べられた。
- 歓談の場では、和やかな雰囲気の中、在学当時の思い出や初対面の方々との名刺交換・情報交換等が活発に行われた。



ペラデニア大学副学長へ記念品贈呈



中島副学長を囲んで記念撮影



ペラデニア大学副学長の挨拶



岡井朝子公使からの祝辞



学生による出し物



懇談会の様子

奨励金等受給者からの謝辞

佐賀大学校友会からの奨励金等の支援を受けた学生から寄せられた感謝の言葉等を紹介します。

国際交流奨励金受給者

アメリカの大学に留学することが私の一つの夢でした。留学資金が壁となっていましたが、奨学金を給付することで校友会の皆さんがその夢が実現することに多いにサポートしてくださりました。心から感謝しています。

経済学部経済システム課程 プレブドルジ バアサン

このたび佐賀大学校友会より奨励金五万円をいただくことになり、ここに感謝の意を表します。留学といえば自分で思っている以上にお金がかかるもので、そのための資金は一学生の私にとって、そして私の両親にとっても相当な出費であったことが思い出されます。このような状況にあって、校友会から奨励金を頂くことができたことは、金銭面のみならず精神面においてもゆとりのある留学生活を送る手助けになりました。感謝しています。ありがとうございました。

経済学部経済システム課程 川 良 邦 弘

文化教育学部所属している藤川愛と言います。私は昨年、交換留学で台湾へ行かせていただきました。その際、校友会から奨励金をいただき、感謝しております。留学は思った以上にお金がかかり、金銭面で不安もありましたが、奨励金の存在は心強かったです。また校友会の皆様から支えられているという思いも持つことが出来、無事留学を終えることができました。

私の留学生活はより一層良いものになったと感じています。本当にありがとうございました。

文化教育学部国際文化課程 藤 川 愛

昨年9月から約10ヶ月間フランスへ留学しました。留学することは私の長年の目標の一つであり、経済的な問題はあったものの校友会奨励金のおかげで気兼ねなく勉学へ励むことができ、また有意義な生活を送ることができました。支援していただいたことに感謝するとともに、経済的問題に直面して留学を躊躇している方には校友会を始めとする奨励金制度のことを知ってもらい、ぜひ積極的な決断をしてほしいものです。

文化教育学部国際文化課程 堀 口 祥 子

私は昨年の10月から6月まで約9か月間タイのチェンマイ大学に留学していました。タイ語の勉強に追われる毎日でしたが、今思うとそんなきつかったことよりも楽しかった思い出が心に残っています。留学を経て勉強に対する意識が変わり、新たな世界を知ることによって視野が広がりました。これから就職活動が始まりますが、この自分の経験を活かしてタイに関係のある仕事に就けるよう努力したいと思えます。

こうして留学生活を有意義なものに出来たのも、校友会様からの奨励金を受けさせていただいたおかげと、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

文化教育学部国際文化課程 中 村 弥 那

海外派遣奨励金受給者

奨励金援助のおかげで、国際会議に参加でき、多くの研究者と意見交換することができました。また、異文化や第一線の研究に触れ、世界の研究動向を調査することができました。さらに、Best Student Paper Awardを受賞できたのも、国際会議に参加し発表するチャンスを得られたからです。この度は、誠にありがとうございました。

工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 大 浦 龍 二

I'd like to say 'thank you' to every member of the alumni association. Without your support I could not participate in the conference, and therefore I could not get the 2 credits in this year. And also I could not have such an impressive experience. So thank you very much for your support.

工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 徐 方

私はスペインで開催された学会発表のために校友会国際交流奨励金を申請しました。学会では、私の発表を多くの方が聞き来られ、非常に意義のある発表をすることができました。また他の研究者の講演も聞くことができ、今後の研究内容に活かすことが出来ました。

今回校友会員の皆様からご支援頂いた奨励金のおかげで、私は学会発表することができました。誠にありがとうございました。

工学系研究科博士前期課程電気電子工学専攻 原 田 和 也

佐賀大学校友会員の皆様 この度は国際交流奨励金の支給のほど、まことにありがとうございました。

おかげさまで海外への渡航及び国際会議での研究発表を行い、大変貴重な経験をさせていただきました。自分はパワーデバイス用材料の結晶欠陥評価の発表を行い、たくさんのお褒めの言葉をいただき、より一層環境エネルギー問題の解決及び科学技術の進展へ貢献できる科学者、技術者になりたいと思えました。これも校友会員皆様のご協力により得られたことであると感じており、感謝してもしきれない思いであります。厚く御礼申し上げます。

工学系研究科博士前期課程電気電子工学専攻 榎 谷 聡 士

給付いただいた奨励金により、ボルテックスチャンバー内の温度分離現象についての研究結果をバンガラデシュで開かれた国際学会において発表することができましたことに心から謝意を表します。

今回の研究では、高圧空気を円管状の渦室内に流入させた際に生じる渦室中心での温度低下および、渦室壁面に設けたキャビティ(溝)での温度上昇に与えるキャビティ形状・取付け位置の影響を調査しました。今後は、温度上昇部を熱源として用いることを考えより有用な形状を模索していきたいと思えます。

工学系研究科博士前期課程機械システム工学専攻 松 野 雄 飛

佐賀大学及び佐賀大学校友会では、最新の情報をホームページ等で皆様へ発信しています

○佐賀大学のホームページ
(<http://www.saga-u.ac.jp/>)



佐賀大学のホームページのトップページから「大学案内」→「大学の取り組み」へ進んでいただければ現在の佐賀大学の取り組みをご覧いただけます。



○佐賀大学校友会のホームページ
(<https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>)



○佐賀大学広報誌『かちがらす』
佐賀大学広報誌として発行しています。
佐賀大学のホームページでもご覧いただけます。



特集 『佐賀大学の物語』刊行
教員紹介
研究紹介
留学生と日本人学生の懸け橋に「グローバルリーダーズ」「サードプレイス」で街を元気に「亀山セミナー」佐賀大学オリジナル清酒「散々酔」製造
地(知)の拠点整備事業
トピックス
「YOUNG JAPAN ACTION」大賞受賞!
「佐賀市景観賞」受賞!
サークル紹介
お知らせ

～トピックス～

佐賀大学美術館・正門整備が『佐賀市景観賞』を受賞！！

平成27年1月、佐賀大学美術館・正門整備が佐賀市景観賞を受賞しました。

今回の受賞のポイントとしては、ガラスを多用することで解放感にあふれ、軒の水平ラインが外に向かって伸びやかな広がりを作り出している点や正門周辺に壁や門柱などを設置せず、新たに時計塔やバス停、緑地などを設けることによって近隣との隔たりをなくし、地域に開かれた大学を象徴している点、さらに大学としての風格を保ちつつキャンパスのイメージを一新させ、道路拡幅によって変容する周辺地域と融合を図った点などが評価されました。

地域と共に未来に向けて発展し続ける佐賀大学は今回の佐賀市都市景観賞の受賞を励みとして、今後も美しい景観形成によるまちづくりに努めていきたいと考えています。



佐賀大学校友会では、会員になっただけの方を募集しています！！

【問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局
〒840-8502 佐賀市本庄町1(国立大学法人佐賀大学3階)
電話 0952-28-8390
(月曜日から金曜日 8:30~17:15 [祝日は除く])
ホームページURL <http://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>

会 費

- 正会員(個人) 20,000円(終身会員)
2,000円(年会費) ※2万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員(団体に限ります)
1口 50,000円

払込方法

- 現金または郵便局振込にてお願いします。
- ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。
- ・郵便局の場合は 振替口座/01760-049425
振替名義/佐賀大学校友会
(振込料金は、校友会で負担いたします。)

